

会長会議 各地域区民センターまとめ

| 項目 | 井草 地域区民センター | 萩窪 地域区民センター | 西萩 地域区民センター | 阿佐谷 地域区民センター | 高円寺 地域区民センター | 高井戸 地域区民センター | 永福和泉 地域区民センター |
|------------------------------------|---|---|---|------------------|--|---|---|
| 9 協議会のDX（デジタルトランスフォーメーション）について【西萩】 | | | | | | | |
| (1) データの保管の仕方について | ○協議会のセキュリティポリシーに基づいて個人情報を取り扱うように繰り返し説明をしている。 ○会議録、広報記事等はデータを自宅にメールで送って作業している実態はある。 | ○協議会のセキュリティポリシーに基づき、運用している。講座の名簿等のデータは事務局専用のハードディスクにおとし、金庫で管理。委員用のPCには個人情報を残さず、名簿を作成する時はボランティア室のみでお願いしている。また個人情報については貸出しているUSBに入れて持ち帰ることは禁止。土、日でボランティア室を使用する場合は事務局が不在のため、入退室管理簿に記入してもらっている。 | | ○協議会PCで保管 | ○協議会のセキュリティポリシーに基づいて、基本的にボランティア室のPCで行われていると言いたいところですが、期限が迫ったり、印刷事業者等のやり取りで、USBにデータを落として、委員の自宅で作業を行っている実態があります。 | ○協議会のセキュリティポリシーに基づいて、ボランティア室のPCで行われている。 | — |
| (2) SNSの活用について | ○協議会のホームページのみと認識している。 | ○協議会ホームページでの発信のみ。 | ○Facebookを活用しており、イベント時に更新している。 | ○協議会としては公式なものはない | ○委員の共通認識は、協議会のホームページでの情報発信だけで、かつて「ツイッター(X)」も活用してきたことがあったので、それを知っている一部の委員が発信することがある。ただし、協議会委員全体に全く浸透していない状況。 | ○活用していない。 | ○協議会のホームページに加え、LINEのグループを組み、委員同士の連絡を取り合っている。 事務局と委員との連絡は、インターネットメールで行っている。 |
| (3) 情報管理規定について | ○新委員として迎えるときの説明会において、個人情報の取り扱いについて説明するとともに、委員研修として年に1回程度は行っている。 ○定例委員会においても、メールの取り扱いについては会長、役員等から繰り返し注意喚起を行っている。 | ○令和3年度に協議会情報セキュリティポリシー及び関係規程等の内部研修を行った。委員も入れ替ったため、今後も研修を実施する。 | 様々なデータ管理の状況が出てくるため、情報管理規定を改めて規定する必要性について検討している。 | ○昨年改定時に委員会で説明 | ○協議会情報セキュリティポリシー及び関係規程等の内部研修は行っておらず、これらに基づいて情報管理しなければならないという認識は薄い。個人情報保護については、各講座で名簿等が作成されるので、研修にも取込み情報管理の重要性について話をしている。 | ○協議会情報セキュリティポリシー及び関係規程等の研修は、個人情報保護の必要性も含め委員改選時に行っている。なお、個人情報については、情報セキュリティ実施手順に基づき、常に管理の重要性、管理方法等について話をするとともに、委員会等において必要に応じて徹底を図っている。 | |
| 10 協議会委員の確保策としての会則改定【萩窪・話題提供】 | | | | ○現状規定変更無し | | | |

会長会議題 各地域区民センターまとめ

| 項目 | 井草 地域区民センター | 荻窪 地域区民センター | 西荻 地域区民センター | 阿佐谷 地域区民センター | 高円寺 地域区民センター | 高井戸 地域区民センター | 永福和泉 地域区民センター |
|-----------------------------|---------------------------------------|---|----------------------------------|---|--|---|--|
| 1 集団事業として実施するまつりの状況について【井草】 | | | | | | | |
| (1)名称 | ①井草区民センターまつり ②八成まつり ③春まつり | ①第45回おぎくぼセンター祭 ②第45回アート展 ③春の子どもまつり | ①ちびっこまつり ②西荻センターまつり | ①夏祭り・盆踊り ②あさがや区民センターまつり ③コミュニティスクール | ①セシオン杉並まつり(センターまつり) ②きた!きた!高円寺まつり ③あわてんぼうのクリスマス会 | ①コミュニティすくーる ②ちびっ子ぼんおどり ③高井戸センターまつり ④上高井戸集会所まつり ⑤講演会「高井戸狂言会」 | ①永福和泉センターまつり ②方南まつり ③下高まつり |
| (2)開催時期 | ①9月上旬 ②11月中旬 ③3月上旬 | ①令和5年10月29日(日) ②令和6年2月23日(祝・金)24日(土) ③令和6年3月3日(日) | ①6月下旬 ②3月上旬 | ①8月上旬 ②3月上旬 ③10月 | ①9月上旬 ②10月下旬 ③12月中旬 | ①5月中旬 ②7月下旬 ③10月上旬 ④11月中旬 ⑤3月上旬 | ①2月中旬 ②6月中旬 ③10月中旬(体育の日) |
| (3)開催日数 | ①2日間(土曜日・日曜日) ②1日(日曜日) ③1日(日曜日) | ①1日間(日曜日) ②2日間(祝金・土曜日) ③1日間(日曜日) | ①1日間(日曜日) ②2日間(土曜日・日曜日) | ①1日 ②1日 ③半日 | ①2日間(土曜日・日曜日) ②1日間(日曜日) ③1日間(土曜日) | ①1日間(曜日は不定) ②2日間(水曜日・木曜日) ③2日間(土曜日・日曜日) ④1日間(日曜日) ⑤1日間(土曜日) | ①1日(日曜日) ②1日(日曜日) ③1日(体育の日) |
| (4)開催場所 | ①井草地域区民センター ②八成区民集会所 ③四宮区民集会所 | ①②③すべて荻窪地域区民センター | ①西荻南区民集会所 ②西荻地域区民センター | ①梅里中央公園 ②阿佐谷区民センター ③区内全域 | ①高円寺地域区民センター ②高円寺北区民集会所 ③和田小学校体育館 | ①高井戸地域 ②③⑤高井戸地域区民センター ④上高井戸区民集会所 | ①永福和泉地域区民センター ②方南区民集会所(コミふら方南) ③下高井戸区民集会所(下高運動場) |
| (5)予算(令和6年度要求額) | ①830,000円 ②460,000円 ③470,000円 | ①575,000円 ②250,000円 ③250,000円 | ①200,000円 ②450,000円 | ①400,000円 ②400,000円 ③50,000円 | ①900,000円 ②150,000円 ③200,000円 | ①30,000円 ②750,000円 ③600,000円 ④80,000円 ⑤525,000円 | ①600,000円 ②100,000円 ③330,000円 |
| (6)その他 | ○イベント実施の前後は、1日または半日ずつ準備にあたる場合がある。 | ○イベント実施の前日は、1日準備にあたる。 | ○集団事業は全員参加を基本として、参加できる範囲で実施している。 | ○イベント実施前後は半日準備及び後片付けにあたる場合がある。 | ○イベント実施の前後は、半日ずつ準備にあたる場合がある。 | ○イベント実施の前後は、半日ずつ準備・片付けに充てる場合がある。 | ※イベント実施の前後は、半日ずつ準備、あと片付けがある。 |

会長会議 各地域区民センターまとめ

| 項目 | 井草 地域区民センター | 荻窪 地域区民センター | 西荻 地域区民センター | 阿佐谷 地域区民センター | 高円寺 地域区民センター | 高井戸 地域区民センター | 永福和泉 地域区民センター |
|-----------------------|--|--|--|---|---|---|---|
| 2 令和5年度イベント等の実施状況について | | | | | | | |
| (1)規模 | ○コロナ禍以前の規模にほぼ戻して実施 | ○イベント、講座をコロナ前の規模、募集人数に戻して実施した。 | ○ほぼ、イベント、講座をコロナ前の規模、募集人数に戻して実施 | ○ほぼ、イベント、講座等をコロナ前の規模、募集人数に戻して実施 | ○ほぼ、イベント、講座をコロナ前の規模、募集人数に戻して実施 | ○イベントはコロナ前の規模に戻して実施 ○講演会(狂言会)は人数をコロナ前より若干少なく募集予定 | ○イベント、講座等をコロナ前の規模、募集人数等に戻して実施 |
| (2)内容 | ○近隣団体は、パン、焼き菓子、ソフトドリンク、焼きそば、雑貨を販売 ○協議会は綿菓子、缶バッジの販売とゲームを実施 | ○さいへんす緑日では、ピー玉万華鏡、日時計を作ろうなどを実施した。 ○おぎくぼセンター祭では、舞台発表、ハロウィン撮影会、苗木配布、マルシェ(野菜、花、和菓子、クッキー、綿菓子、ポップコーン他)、デジタル宇宙散歩、ニューススポーツ体験、子育てサロン、骨密度・血管年齢測定などを実施した。 | ○保育園・幼稚園の作品展示、缶バッジ、布さかな釣り、南京玉すだれ等 | ○夏まつり・盆おどり ○子どもフェスティバルウイズ科学で遊ぼう | ○模擬店は、ゲーム、販売コーナーの他、飲食ができるお店、キッチンなど複数出店した。 | ○コロナ前を参考にほぼ同程度に実施 ○模擬店では飲食物の販売を実施(5年度再開) | ○発表会、模擬店、ゲーム、販売コーナーのほか、キッチンカー、飲食コーナー等の設置を予定。 ※センターまつりに、南伊豆町(イセエビ味噌汁)、自衛隊(カレーライス)の参加予定 |
| (3)主な実績 | ○井草センターまつり 9月9・10日実施 来場者:延べ3,400人 ○八成まつり 11月12日実施 来場者: 790人 | ○さいえんす緑日 【7月30日(日)実施】 来場者:約300名 ○第45回おぎくぼセンター祭 【10月29日(日)実施】 来場者:約800名 | ○ちびっこまつり2023 【6月25日(日)実施】 来場者約870名 | ○夏まつり・盆おどり 8月5日(土)3000名 ○子どもフェスティバルウイズ科学で遊ぼう9月24日(日)1700名 | ○わい!わい!わだまつり 【4月23日(日)実施】 来場者:約3,800名 (※再入場者のカウント含む) ○セシオン杉並まつり 【9月9日(土)、10日(日)実施】 来場者:約3,500名(2日間) (※再入場者のカウント含む) | ○ちびっ子ぽんおどり 【7月26日(水)、27日(木)実施】 来場者:約10,000名 ○センターまつり 【10月7日(土)、8日(日)実施】 来場者:約10,000名 | ○方南まつり 実施日:6月18日(日) 来場者数:約160名 (※再入場者のカウント含む) ○下高まつり 実施日:10月9日(祝)雨天 来場者数:約300名 ○センターまつり 実施日:R6年2月18日(日)予定 |
| (4)その他 | ○アルコール飲料の提供は、行わないこととした。(ノンアルコールビールも不可) | ○昨年度はマルシェを単独で開催したが、今年度はセンター祭との合体にした。そのため内容が盛り沢山になり、来場者の感想でも好感度であったことが伺えた。 | ○ジュース、焼き菓子の販売は行ったが、食事の販売はまだ行かなかった。 ○今後は、コロナ感染予防も図りながら、以前の規模、内容で実施していく予定。 | ○夏まつり・盆おどりは一日開催で模擬店もありアルコールの提供も行った。 6団体共催で大盛況であった。 | ○まだ、アルコール飲料の提供は行わないことにしたが、周知が徹底していなかったため、一部キッチンカーで提供があった。 ○今後は、コロナ感染予防も図りながら、以前の規模、内容で実施していく予定。 | ○今後もコロナ等感染予防を図りながら、以前の規模で実施していくことを基本に、内容等を決定していく方向 | ○アルコールの提供は行わない。 |
| 3 コロナ対策の緩和状況について | | | | | | | |
| (1)アルコール消毒 | ○強制はせずに、自由に使える位置に数か所配置した。 | ○センター入口に設置してあるもののみ。 | ○強制することしていないが、受付などに消毒液を設置している | ○ケースバイケース | ○強制することはないが、受付や置いておいた方が良いと思われる個所には消毒液を引き続き設置している。 | ○強制することはないが、受付や置いておいた方が良いと思われる個所には消毒液を引き続き設置している。 | ○受付や部屋の入口等に消毒液を引き続き設置しているが、使用は任意としている。 |
| (2)マスク着用 | ○本人の意思に委ねることとしている。 ○委託している受付職員は、常時マスクをしている。 | ○イベントでは、食品を扱う所や舞台など多くの来場者と接する委員はマスクを着用している。それ以外は委員個人の判断だが、ほぼ委員全員が着用している。 | ○個人の判断に任せている。 | ○個人の判断だが委員は可能な限り着用。 | ○講座等で講師からの希望、会場も借りる場合、会場管理者等から指示が無ければ、個人の判断に任せている。 ○当初、協議会委員は全員マスクを着用して対応をしていたが、現在は、委員個人の判断に任せている。 | ○協議会委員、講師、来場者すべて個人の判断に任せている。 | ○イベントや講座の参加者、協議会委員ともに、個人の判断に任せている。 |
| (3)その他 | ○ほぼコロナ以前の対応をしている。 | ○協働事業、講座の募集人数は、コロナ前の募集人数に戻している。 | ○講座等募集人数は、コロナ前の募集人数に戻し、席の間隔確保も緩和してきている。 ○感染者の減少時、5類変更後はイベント参加者の連絡先の提出も行っていない。 ○感染状況や世の中の動向を見ながら、イベント時の飲食の提供等さらに緩和していく方向で考える。 | | ○講座等募集人数は、コロナ前の募集人数に戻し、席の間隔確保も緩和してきている。 ○感染者の減少時、5類変更後はイベント参加者の連絡先の提出も行っていない。 ○感染状況や世の中の動向を見ながら、さらに緩和していく方向で考える。 | ○講座等は、コロナ前より募集人数の減、席の間隔の確保、窓開け換気等の感染対策を引き続き行っている。 ○募集人数は感染状況により決めている。 | ○講座等募集人数は、コロナ前の募集人数に戻し、席の間隔確保も緩和してきている。 ○感染者の減少時、5類変更後はイベント参加者の連絡先の提出も行っていない。 ○感染状況や世の中の動向を見ながら、さらに緩和していく方向で考える。 |

会長会議題 各地域区民センターまとめ

| 項目 | 井草 地域区民センター | 荻窪 地域区民センター | 西荻 地域区民センター | 阿佐谷 地域区民センター | 高円寺 地域区民センター | 高井戸 地域区民センター | 永福和泉 地域区民センター |
|----------------------------|---|---|--|---|---|--|---|
| 4 各協議会の特徴ある取組について 【阿佐谷】 | | | | | | | |
| 内容 | <p>○井草地域では、支援事業という名目で、各学校のまつり等の際に協議会委員が20名ほど参加している。風船ヨーヨーを約1千個作り無償提供や販売をしている。学校とのつながりを確保する中で、PTAの委員推薦を増やす取り組みとして位置付けている。</p> <p>○協議会委員が37名と多く、委員活動も活発である。</p> | <p>○今年度45回目のアート展は地域アートに着目し、個人、グループ、学校の絵画と作品を2日間展示する。全館使用し、区民センターが美術館化する。特別展として著名人の作品を展示することも過去にはあった。</p> <p>○地域ふれあいアフタヌーンコンサート 荻窪音楽祭との協働事業で、プロの弦楽三重奏と荻窪高校吹奏楽部による多世代向コンサートを無料実施予定。</p> <p>○地域交流会「こみゅに亭カフェ」は食を通じて交流しコミュニティ形成に役立てようというもので、今年度は3回実施を予定。12月の2回目では、ウクライナの方を講師に招き、国際交流企画となっている。</p> <p>○「荻窪寄席」は、中途失聴・難聴の方々にも楽しんでもらえる字幕付寄席となっている。</p> <p>○「総集版 荻窪の記憶」 荻窪地域の歴史を資料や写真と共に冊子に纏め発刊し、発刊記念シンポジウムと地域懇談会を実施した。</p> | <p>○子どもに特化したちびっこまつりを実施している</p> <p>○共生社会について、ユニバーサルデザインの展示などをイベント時に行っている。</p> | <p>○昔から子供に特化したイベントを開催している。</p> <p>・子どもフェスティバル科学で遊ぼう</p> <p>・子ども音楽祭</p> <p>○令和元年までは子どもイベント部が存在</p> | <p>○高円寺地域には、和田障害者交流館があり、この施設に和田小学校が接していることから、障害者団体連合会と協働で「わい！わい！わだまつり」を実施。たくさんの子どもの笑顔を見ることが出来る。</p> <p>○地域性もあるが、高円寺は、「東京高円寺阿波おどり」が、毎年盛大に行われる。協議会では、「阿波おどり体験講座」と称して、1日限りの「おじゃま連」を結成し、(4時間程度)の練習で、演舞場で阿波おどりを披露する。4年ぶりの実施で6.0名の申込みがあり大好評だった。</p> | <p>○春には消防署、消防団の協力のもと、高井戸町会と共催で「消防まつり」を開催している。消防車、はしご車、起震車などが来場し、消防体験、救助体験、AED訓練等を行い、地域の方に楽しみながら防災の意識を高めてもらっている。</p> <p>○夏には近隣の児童館と共催で、施設内の広場を使った「ちびっ子ぼんおどり」を開催し、町会・高齢者団体の協力も得て毎年2日間で幼児・小学生から高齢者まで、計10,000名以上が来場する催しとなっている。</p> | <p>○永福和泉協議会の活動拠点に下高井戸区民集会所がある。当施設は、下高井戸運動場と併設されており、施設の特色を活用し、体育の日イベントと合同で協議会の祭りを開催している。子供や親子連れ、高齢者に加え、スポーツに親しむ若者など幅広い世代の参加があり、協議会の活動、目的等の啓発に寄与している。</p> |
| 5 令和6年度予算事業について | | | | | | | |
| (1) 物価高騰対策 | <p>○まつり等に提供する、ゲームの景品や風船、ザラメなどを含め、すべて単価アップしているため、集団事業費は予算増で要求している。</p> | <p>○見積等を参考に、高騰分を予算計上している。</p> | <p>○特に予算化していない。</p> | <p>○自助努力</p> | <p>○令和5年度は、物価の高騰の影響を受け、単価が上がり苦勞したことを踏まえ、見積等も参考に高騰分を予算計上している。</p> | <p>○5年度の実績に基づき組替が生じている項目については見積を聴取の上、また新たに負担する手話通訳者経費については、回数等を精査の上予算要求している。</p> | <p>○5年度は物価の高騰の影響を受け、予算のやりくりで苦勞した。講座の無料講師をお願いするなど、予算全体で調整をした。</p> |
| (2) 予算額(予定) | <p>○6年度は、総予算としては昨年度より4万円減額したが、井草協議会創立40周年を迎えるため、周年行事予算として20万円ほどを要求している。</p> | <p>○令和5年度並みの予算額を見込んでいる。</p> | <p>○40周年記念事業の予算分が増となっている。</p> | <p>○物価高騰の影響は大きい、5年度並みの予算額を見込んでいる。</p> | <p>○物価高騰の影響は大きい、5年度並みの予算額を見込んでいる。</p> | <p>○5年度並みの予算額を見込んでいる。</p> | <p>○広報誌の予算額が伸びたが、委員活動費の精査等で、ほぼ5年度並みの予算に抑えている。</p> |
| (3) その他 | <p>○井草協議会では、平成30年度から手話、託児の予算を計上してきた。</p> | <p>○荻窪地域区民センターは令和6年11月から改修工事による休館になるため、センター以外の事業実施場所の確保を図り、令和5年度並みの活動を予定している。</p> | <p>○手話通訳予算を計上した。</p> | <p>○令和5年4月1日に「杉並区手話言語条例」の公布されたことを踏まえ、協議会においても積極的な手話通訳の活用を検討することで、予算計上した。</p> | <p>○令和5年4月1日に「杉並区手話言語条例」の公布されたことを踏まえ、協議会においても積極的な手話通訳の活用を検討することで、予算計上した。</p> <p>○阿波おどり体験講座は、4年ぶりに実施されたが、登録料等大幅な値上げがあり、参加費の値上げも含め検討した。</p> <p>○これまで懇談会、総会等に合わせ行っていた懇談会は行わない。バスをチャーターしての外部研修は行わない。</p> | <p>○令和5年4月1日に「杉並区手話言語条例」の公布されたことを踏まえ、積極的に手話通訳を活用する方向で予算計上した。</p> | <p>○令和5年4月1日公布の「杉並区手話言語条例」や会長の意向を踏まえ、協議会においても手話通訳の活用を図るため、引き続き科目存置的に30,000円を予算計上した。</p> |
| 6 協議会における新たな動き等について | <p>○委員の高齢化等に伴い、井草区民センターまつりの開催日数の縮小について、今後検討していく予定。</p> <p>○例年春まつりでは餅つきを行ってきたが、人手不足と経験者不足のため、協議会としてもちつきを取りやめる判断をした。(コロナ、ノロウイルス、衛生面ほか)</p> | <p>○センター改修時の事業について検討企画をしている。</p> | <p>○協議会のDXについて検討を始めている。</p> | <p>○実行委員会の充実を図っている。</p> | <p>○協議会の課題を検討するために、役員会の後に「案々プラン検討委員会」を設置し検討を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の協議会活動における負担の軽減 ・委員の確保策について ・組織体制について <p>などを検討する予定</p> | <p>○委員改選等に伴う引継ぎを円滑に行うため、集団事業等の実行部長1名に加え、今年度から副実行部長(1~2名)を指名して事業を実施することとした。</p> | <p>○協議会のあり方について検討が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の確保策 ・委員活動の負担軽減 →テレワークの実現 ・委員活動費の考え方 |
| | | <p>○令和5年度に会則検討委員会を立ち上げた。</p> | | | <p>○令和7年度に向け、指定管理者と協議会との取組について検討を開始する。</p> | | |

会長会議題 各地域区民センターまとめ

| 項目 | 井草 地域区民センター | 荻窪 地域区民センター | 西荻 地域区民センター | 阿佐谷 地域区民センター | 高円寺 地域区民センター | 高井戸 地域区民センター | 永福和泉 地域区民センター |
|--|--|---|--|----------------------------|--|--|--|
| 7 各イベントで大規模なものについて、協議会委員だけでは賅えないスタッフの確保について【阿佐谷】 | | | | | | | |
| 内容 | ○協議会のOB,OGへの協力依頼 ○今後、区の各部署との連携も考慮して企画を検討する予定。 | ○協議会OBやサポーター登録して下さった方にスタッフを、また、近隣の都立高校生徒にもボランティアをお願いしている。主に集団事業の当日サポート、また寄席や講談については高座の設置があるため、慣れるまではOBに来てもらい指導を受けている。 | ○協議会OG、OBに対して、サポーター登録をしてもらい協力依頼をしている。 ○西荻センターまつりでは、中学生ボランティアや野田鎌田学園（高等専修学校）へのボランティア協力を依頼している。 | ○チームなみすけをお願いしているが、確実性に欠ける。 | ○協議会OG、OBに対する協力依頼 ○今年度、セシオン杉並まつりへ、文化交流課が実施している「チームなみすけ」のボランティア5名/日を初めて依頼した。 ※文化・交流課が、東京オリ・パラのために募集したボランティアを引き続き、「チームなみすけ」として継続し、区のイベントの支援をしている事業で、現在1,700名が登録している。謝礼は無く、ポイントをためてトートバッグなどと文化・交流課が交換してくれる。所管はイベントを通して何かひとつでも提供できるものを用意する必要がある。（缶バッチ、お弁当、飲み物を提供した。） | ○センター・集会所施設を使うイベントにおいては、全般的に指定管理者・建物管理受託者に協力を要請しており、かねてより快く応じていただいている。 ○まつり・ぼんおどりは、以前より町会や地域団体等の協力を仰ぎながら実施しており、「協力者会（打合せ会）」を別途開催し各団体の意見を調整し、情報を共有しながら、運営の一助を担っていただいている。 | ○協議会委員OBや企画課公民連携担当と協力して、明治大学や高千穂大学など学生のボランティアをお願いしている。 |
| 8 協議会委員のAED研修の実施状況について【井草】 | | | | | | | |
| (1) 実施の有無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有（指定管理者実施の避難訓練） | 毎年実施 |
| (2) 実施の予定 | これから計画をしたい | 無 | 無 | 今後検討 | 無 | 有（避難訓練参加） | 11月21日実施予定 |
| (3) 実施を予定する場合 | | | | | | | |
| ①実施時期 | 明年 1月か2月 | | | | | 5月、11月 | 例年10月 |
| ②場所 | 井草地域区民センター | | | | | 高井戸地域区民センター | センター集会室 |
| ③研修依頼先 | 消防署 | | | | | 消防署（指定管理者から依頼） | 杉並消防署 |
| (4) その他 | 委員研修の一環として、普通救命講習ではなく、応急救護（無料）として実施予定 | | | | | 避難訓練で実施する研修に参加 | |